



インタビュー：編集部

当体会員 山本 高興 (65期) ●Yamamoto Takaoki

Q 独立のきっかけを教えてください。

A 私は弁護士登録後、外苑前にある事務所に入り、3年8か月勤めていました。事務所のボスに恵まれ、非常に充実した毎日を過ごしておりましたが、将来的に独立を考えていましたし、子育てを優先した形で仕事をしたいという希望があり、自由に時間をやりくりできるよう、私生活上のパートナーの片岡麻衣弁護士と話し合っ、私の出身地である八王子で、昨年9月に一緒に独立しました。

Q 独立前の事務所のボスに、いつ、どのように独立の意向を伝えましたか？独立までの準備期間はどのくらいですか？

A 昨年6月に、地方の裁判所に向かう際の特急電車の中で、ボスに伝えました。7月頃から物件を探しに行きましたので、独立するための準備期間は2か月程度だと思います。事務所のボスの修習期は23期で、世代的に独立することには非常に理解のある方でしたので、独立したいという希望を快く受け入れていただきました。ボスには、多摩支部のことや法律事務所の内装などについてアドバイスをいただいたり、独立の際には事件を紹介していただいたりと、大変感謝しています。

Q 開業資金について、工夫して節約した点、逆にお金をかけてこだわった点などを教えてください。

A 開業資金は、不動産の賃料等の支払を合わせ、総額400万円くらいはかかったと思います。また、独立して収入がない時期に焦らないよう、一定の運転資金を貯金で用意しました。

節約した点ですが、事務所の内装は、借り

た物件が元々きれいだったこともあり、パーテーション工事およびネットワーク回線工事以外はほとんど全て自分たちで行いました。また、プリンター、レーザー複合機、シュレッダーはかなり安く抑えました。現時点で支障はありません。

他方、費用を投じた部分は物件とエアコンです。事務所の場所と間取りについては時間をかけて検討しました。高齢者や車いすの方が相談に来やすいようにエレベーターがあること、依頼者の方は緊張して相談に来られる方も多いため、入り口近くにトイレがあることを条件に物件を探しました。最終的に、駅からは少し歩きますが、甲州街道沿いで場所が分かりやすく、近隣にコインパーキングのある20坪程度の物件を選びました。また、会議室は天井までのパーテーションを設置して執務室とは完全に区切り、観葉植物や花を置いたり、絵を飾ったりと、安心して相談できる雰囲気作りを心がけました。

エアコンは、40万円ほどかけて、新品を入れました。その代わりに、大家さんにフリーレントを付けてもらいました。

Q 事務所の構成（弁護士数、事務職員数）を教えてください。

A 現在、弁護士は私を含めて2名です。独立当初から、事務職員を雇っています。私の子育てを理由に独立したので、子育て中の方に働く場を提供したいと思い、知り合いの子育て中の未経験の方を採用しました。子育て中のため、フルタイムで来てもらうのは難しいので、パートで来てもらっています。労働時間としては、週3～4回、10時から15時

らいまでです。

事務職員には、電話対応、コピー、FAX、部屋の掃除、買い出しなどをお願いしています。

Q 「あさや法律事務所」という事務所名の由来を教えてください。

A 八王子は地名を事務所名に入れているところが多いので、他所と差別化を図りたいと思いました。「あさや」は、私の実家が八王子で三代にわたり経営していた「麻屋山本昼店」の屋号が由来です。「あさや」と平仮名にして、親しみやすさをイメージしました。昼店は2年前に閉めてしまったので、名前だけでも事務所名に入れて残す、という意味もあります。

Q 取扱い案件について、独立前後で変化はありますか？

A 独立前に所属していた事務所は、中小企業法務をメインに、著作権をはじめとする知的財産権に関する事件や一般民事事件など幅広い事件を扱っていました。現在は、インターネットを通じて、個人の方から家事事件等の相談を多く受けるようになりました。企業のご相談もありますが、独立前と比べると個人の方の割合が多く、客層が変化しましたね。

Q 独立後の顧客獲得の方法について教えてください。

A 事務所ホームページや「弁護士ドットコム」に出した広告を見て相談に来られる方が多いです。二弁の仲裁センターの委員をやっているので、そのつながりで共同受任して事件を担当したり、ほかの委員の先生に事件の紹介を受けたりすることもあります。また、八王子や立川の法律相談センターなどでの法律相談や、「ひまわりほっとダイヤル」を通じて事件を受任することもあります。

交渉案件が中心でしたが、最近では訴訟案件が徐々に増えてきました。

Q 独立してよかったこと、これまでやってきた感想を教えてください。

A 今年9月1日にて、独立して1年が経ちました。4月に子どもが産まれましたが、現在

の事務所にはベビーベッドも置いており、子どもも気兼ねなく連れてこられますし、とても伸び伸びと活動できています。

独立前の事務所でも十分自由にやらせてもらっていましたが、子育てをしながらのワークライフバランスを考えると、今の体制は自分に合っていると思います。

Q 逆に失敗点はありますか？

A 電話対応の難しさですかね。電話に出られないときは留守電設定にしているのですが、わざわざメッセージを残す人は多くないので、対応方法をしっかりと考えるべきです。

Q これから独立を考えている方へのメッセージをお願いします。

A 独立すると視野は広がりますし、仕事自体は何とかなるものです。共同で事務所を経営しているからこそ気兼ねなく話せることも多いので、同期との独立もいいと思います。弁護士業務と子育ての両立を考えている先生には、お勧めの働き方ですので、そういった方に今回の記事を参考にしてほしいと思います。

■



お子さんの正文さんと会議室にて